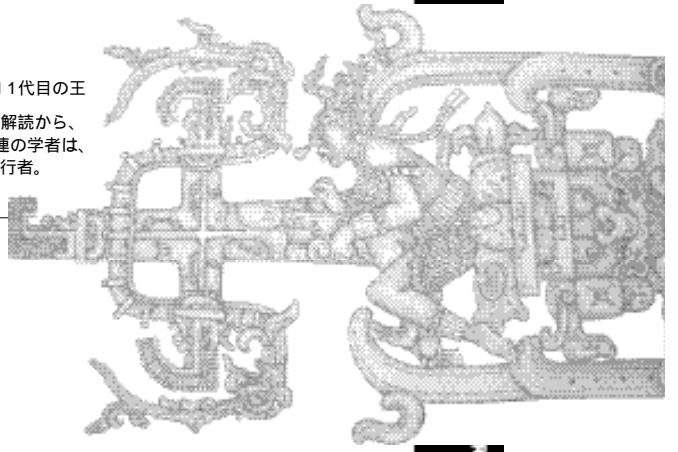


時間の旅人 パカル・ヴォタン マヤ古代王朝11代目の王

1952年発見された、この石棺と碑銘の神殿の文字の解読から、マヤの叡智がよみがえった。空間認識しかできないソ連の学者は、宇宙飛行士だと考えた。パカル・ヴォタンは、時間航行者。

第6回 (最終回)

マヤの叡智によって



第2回 生物圏の権利のための地球会議

今年9月に、ブラジリアで、生物圏についての世界会議が開かれます。

開催日は、マヤの13の月の暦で、赤い磁気の月の年 電気月の3日～7日、西暦で、2006年9月22～26日です。

- 22日 地球の危機、人口と絶滅
- 23日 地球を癒す、私たち自身を癒す
- 24日 平和な文化、平和な生物圏
- 25日 エネルギー危機と現実的な代替エネルギー
- 26日 精神圏 (ヌースフィア) のための準備

主催時間の法則財団

マヤ暦の叡智によって、誰でも、新しい時間に旅立っています

柳瀬 宏秀の「コスミック・ダイアリー」

2012年に向けて、人が今日、人間存在だと受けとめ、人間の意識だと思っているものから、人は違う地点に生まれ変わろうとしています。宇宙的な意識というものは、非常にテレパシーの発達したお互いのことを思いやる状態です。そのような意識レベルに到達したときに、今日営んでいるような生活スタイルや考え方というものは、もうこれ以上続けられる状態ではなくなるのです。

意識を生物圏に向けることが大切なのです。こうしている間にも世界の状況は、さらに緊急を要する状況に直面しています。そして、その世界の状態は、私たちの意識の上に成り立っているのです。

戦争、テロ、自然災害、地球の温暖化、過剰な人口の増加、過剰な機械の増加、あまりにも多くの不平等、氾濫する情報、すべてが、コントロールを失ったまま加速しています。しかし、あらゆる



議論のなかで、「生物圏」について語られているのでしょうか？ 「生物圏」という概念、その重大さに気がついていないのでしょうか？

いまこそ「生物圏」について意識を向けるべきです！

生物圏に対する人間の態度を確認しましょう

生物圏とは、一つの統合した生命体としての、地球のあらゆる生命と、そのすべてが相互に支えあう機能のことを表しています。この生物圏が美しく機能するために、私たち人間は、不可欠な存在なのです。ところが、私たちは生物圏がどのように働いているのかを理解していなかったために、人



間による無計画で容赦のない環境破壊が、急速に進みました。

一つの生命体システム、生物圏があるということ、海のプランクトンから極地のツンドラまで、私たち人間を含めてすべてがこの一つの生物圏をつくっているということ、本当に理解していたでしょうか？

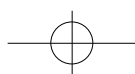
もしそうだったなら、その結果も考えずに、人類がしているようなこれほどの勢いで、採取は起きなかつたでしょう。

また、人類が、生物圏全体を理解せずに、またそれがどのように働いているのかを理解しないまま、実際に部分的にでも修復することができているのでしょうか？ 人は何が間違っている、と気がつ



柳瀬宏秀 やなせひろひで
環境意識コミュニケーション研究所代表。
20年間、電通にて、コピーライター、CMプランナー、映像プロデューサーとして働き、4年前に退社し、現職。
「京都、満月祭り」「満月の十三祭り」を企画プロデュース。仁和寺や上賀茂神社、平安神宮などで、喜多郎、UA、BEGIN、梅若六郎など、賛同するアーティストと、祭りの空間を生み出す。

「環境意識」「月のおもてなし」「共振のコミュニケーション」をテーマに、企業コンサルタントやセミナー、研修、講演なども行っている。ホームページは、<http://www.async.ne.jp/cosmic/>





柳瀬宏秀・著
『コスミック・ダイアリー2007』
(2006.7.26～2007.7.24の
ダイアリーです)
価格 2,800円(税込)+送料200円



柳瀬宏秀・著
『コスミック・ダイアリー』の精神
時間は、オーガニック・オーダー
「マヤの叡智と日本人の魂の融合」
書き下ろし
価格 2,000円(税込)+送料200円

お申し込みは、FAXか
メールにて
FAX : 055-974-3877
mail:cosmic-kin12@syd.odn.ne.jp
《環境意識コミュニケーション
研究所》までお申し込みくだ
さい。

繰り返しますが、新しい時間に
旅立つためには、まず、「時間は
オーガニック・オーダー」という
宇宙の現実を感じ始めることが、
まず一番重要です。
それを伝える講義がないので、
「コスミック・ダイアリー・セミ
ナー」を2年前に始めました。一
人でも多くの方に、新しい時間に
旅立っていただきたいという思い

また、ドネーション(寄付)を
呼びかけています。
生物圏、イコール
「オーガニック・
オーダー」



2012年はまた、預言的な日
付です。もし、人間の意識と、世
界「生物圏」に対する人間の
態度がこのときまでに劇的に変化
しないなら、地球上での人類の未
来は失われるでしょう。
そのときをただ待つことはでき
ません。いま、協力して行動を起
こすべきなのです。参加可能な方
は、ブラジリアに行くことをご検
討ください。

また、ドネーション(寄付)を
呼びかけています。
生物圏、イコール
「オーガニック・
オーダー」

2012年はまた、預言的な日
付です。もし、人間の意識と、世
界「生物圏」に対する人間の
態度がこのときまでに劇的に変化
しないなら、地球上での人類の未
来は失われるでしょう。
そのときをただ待つことはでき
ません。いま、協力して行動を起
こすべきなのです。参加可能な方
は、ブラジリアに行くことをご検
討ください。

人間の役割というものは、宇宙
のなかの星それぞれがそれぞれの
意志をもち、その意志に目覚める
ということの一端を担うことなの
です。人間を触媒として地球がそ
の意志に目覚め、その意志を動か
すようにするということこそが、
本当の意味での宇宙意識の目覚め
なのです。
これからの人類が迎える時間

人間の役割というものは、宇宙
のなかの星それぞれがそれぞれの
意志をもち、その意志に目覚める
ということの一端を担うことなの
です。人間を触媒として地球がそ
の意志に目覚め、その意志を動か
すようにするということこそが、
本当の意味での宇宙意識の目覚め
なのです。

ホゼ・アグエイアス博士は、2
012年について語ります。
「人間はこのいろいろな発展の形
の最後のところまで発達し、最後
の地点において最後の成長をする
という役割を担っているといえる
のではないのでしょうか。」

ホゼ・アグエイアス博士は、2
012年について語ります。
「人間はこのいろいろな発展の形
の最後のところまで発達し、最後
の地点において最後の成長をする
という役割を担っているといえる
のではないのでしょうか。」

ホゼ・アグエイアス博士は、2
012年について語ります。
「人間はこのいろいろな発展の形
の最後のところまで発達し、最後
の地点において最後の成長をする
という役割を担っているといえる
のではないのでしょうか。」



**第35回 コスミック・ダイアリー
集中1日 特別セミナー(6時間半)**

日時 7月2日(日)
10時30分から17時00分

場所 緑が丘文化会館 第1研修室
緑が丘図書館のある建物です。
目黒区緑が丘2-14-23
東急東横線：自由が丘駅下車7分、
東急大井町線：緑が丘駅下車8分

**第36回 コスミック・ダイアリー
集中1日 特別セミナー(6時間半)**

日時 8月29日(火)
13時30分から20時00分

場所 めぐるパーシモンホール リハーサル室
目黒区八雲1-1-1
東急東横線 都立大学駅徒歩7分
改札を出て左にまっすぐです

お申込方法
メール cosmic-human12@syd.odn.ne.jp
あるいはFAX 055-974-3877にて
参加希望セミナーを明記の上、お名前、
ご住所、年齢、電話、メール、あなたの
KIN「銀河の署名」(あるいは、生年月日)
をお知らせください。

会費 セミナー参加費 13,000円

2009年に日本で、精神圏に
ついでに地球会議を開きたいと思
っています。協力者を募り、この
連載の最後の言葉とします。

2009年に日本で、精神圏に
ついでに地球会議を開きたいと思
っています。協力者を募り、この
連載の最後の言葉とします。

2009年に日本で、精神圏に
ついでに地球会議を開きたいと思
っています。協力者を募り、この
連載の最後の言葉とします。

2009年に日本で、精神圏に
ついでに地球会議を開きたいと思
っています。協力者を募り、この
連載の最後の言葉とします。

